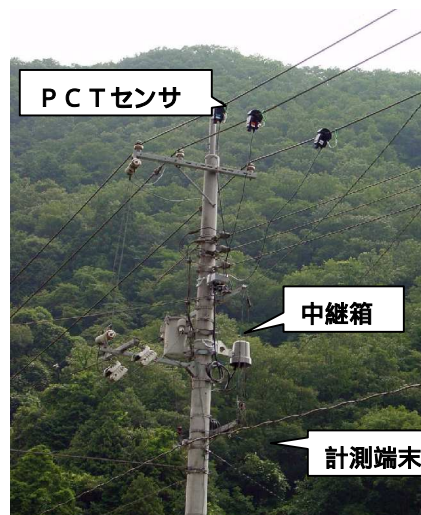


概要

故障発生時に故障点から一瞬流れる電流（サージ電流）を配電線の数ヶ所で検出し、それぞれの箇所にはサージ電流が到着した時間差から故障点を特定します。サージ電流を高精度に検出する「PCTセンサ」3台と、PCTセンサで検出したサージ電流波形およびGPS衛星からの時間情報を同時に取込む「計測端末」1台、およびそれらの中継する「中継箱」を1セットの現地装置として、1配電線の数ヶ所に設置して使用します。それぞれの現地装置に保存したデータを、通信端末を使って故障点標定装置が取り込んで、故障点の位置を算出します。



現地装置設置状況



故障点標定装置

特長

可搬型（必要な期間だけ現場に設置して使用できるため、既存の事故区間判定装置と比べ、配備台数を低減可能）

事故点の早期標定が可能（通信端末を用いたデータ通信）

標定精度 ±100m。

仕様

現地装置

定格電圧	6600V（線間）
定格周波数	60Hz
動作温度	-20℃～+60℃
使用環境	屋外（現地装置、連続装柱期間3ヶ月以内）
装置電源	AC100V（60Hz）
適用電線	① SN-ACSR-OC-SO 25 mm ² ② SN-ACSR-OC-SO 58 mm ² ③ SN-ACSR-OC-SO 200 mm ² 上記以外の電線サイズでも電線スパーサを用意する事で適用が可能になります。
適応接地線	8 mm ² または14mm ² ×2本
相電流計測範囲	0A～600A±10%
バックアップ時間	20分間（バッテリーフル充電状態より）
データ通信	通信端末を利用したパケット通信
重量	① 可搬型センサ6kg/相（ケーブル含む） ② 中継箱 5kg ③ 計測端末 10kg

故障点標定装置

【参考】PCは汎用品です。このシステムの動作環境は以下のとおりです。

CPU	Pentium III以上
RAM	64M バイト以上
HDD	10G バイト以上
OS	WindowsXP, NT, 2000, VISTA
解像度	1024*768 (XGA) 以上
I/F	COM ポート（但し通信端末との接続による）

共同開発先

株式会社 三英社製作所

お問い合わせ先 ▶ 中国電力株式会社 エネルギア総合研究所 流通設備担当

〒739-0046 東広島市鏡山3丁目9番1号 TEL/082-420-0700 FAX/082-420-0706